

第8回 全日本民医連認知症懇話会ニュース

2016年9月23日(金)10:00～24日(土)12:30

場所 京都テルサ(南区東九条新町通九条下ル)

地域の中で認知症とともに、

生き支えあう輪を未来へ IN 京都

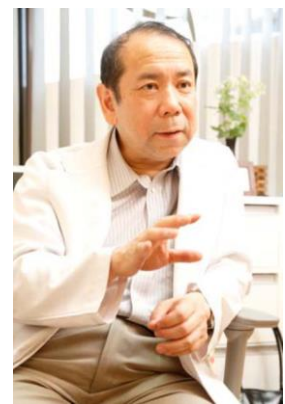
N05 2016・8・12

9/24 (土) 9:00～

メイン 講師のご紹介 2日目

認知症疾患医療センター診療所型が行う

認知症の医療とケアの新たな展開



～診断・治療・認知症ケア・家族支援、そして連携から始まる人材育成とは～

診療所型認知症疾患医療センター医療法人藤本クリニックセンター長／理事長

藤本 直規先生

講師プロフィール

1952年生まれ。京都大学医学部卒、医学博士。1990年滋賀県立成人病センターに「もの忘れ外来」を開設。1999年認知症専門の医療法人藤本クリニックを開業。2014年10月、認知症疾患医療センター診療所型として県の指定を受ける。平成22年度日本認知症ケア学会・読売認知症ケア奨励賞受賞。日本認知症学会専門医・理事、日本神経学会専門医、日本老年医学会老年病専門医

著書



認知症の医療とケアー「もの忘れクリニック」「もの忘れカフェ」の挑戦

続・認知症の医療とケアー「根拠のあるケア」を追い求めて

若年認知症の人の仕事の場づくりー「支援の空白期間」に挑む」

私、認知症だと言われました

講演へのお誘い

まだ介護保険制度もない時期から、認知症の方とその家族の支援に取り組まれて四半世紀。その足跡を知るにつけて触発されます。

断らないもの忘れ外来と患者でなくても相談できる電話相談。

診断直後から支援を開始し継続する外来心理教育と本人と家族の会。

参加者自身がメニューを決めるもの忘れカフェ。

若年者・軽度者の「役に立ちたい」「社会とつながっていたい」の思いに寄り添う「仕事の場」。

認知症者の就労を継続するために本人・会社と同僚に対するきめ細かな支援。

これまでから医師会を通じて地域のつながりづくり、職種を超えた連携の仕組みや研修の場をつくることに尽力されてきましたが、全国に先駆けて診療所型疾患医療センターの指定を受けたことでさらに多くの機関・企業・団体を巻き込んだ新たなステージを目指されています。

ー「いつも、当事者や家族の声に耳を傾け、スタッフと相談を繰り返していたらこうなった。」「まだ、患者・家族・スタッフ・かかりつけ医とのかかわりから学ぶことばかりだ。」藤本先生の言葉です。

貫いてこられたその姿勢と、先進的な取り組みの中から私たちの活動へ通じるメッセージをぜひ受け取りたいと思います。多数のご参加お待ちしております。

京都へ

急げ 締め切り 8/20

参加申し込み!

認知症懇話会ホームページはこちら↓↓

<http://www.kyoto-min-iren.org/nin-konwa/index.html>

8/12 現在 130 名です

目標達成まであと 370 名

目標は500名です

今回京都で行われる認知症懇話会は500名参加で成功させようと皆様の参加をお待ちしております。各都道府県の参加を予定されている皆様、早めの参加申し込みにご協力お願い致します

演題発表者も参加申し込みをお願いします

ホテルも押さえていますか?

9月の連休です!!早めに

参加申し込みと宿泊の予約を!!



実行委員 おすすめスポット

京都タワー 定番やん！！とお思いかもしれませんが

熊本地震の際に災害支援

に行かせてもらいました。

高齢者の方に熊本のシンボルはと尋ねましたら

『熊本城』とのこと。でも熊本城は地震で大きな被害を受けました。石垣が崩れ、屋根瓦やしゃちほこが落下。熊本のシンボルが無残な姿になりました。支援から京都に戻り京都駅から京都タワーを見たとき、ライトアップされた京都タワーがとても綺麗でした。でも頭をよぎったのは、もし京都のシンボリック存在が地震で倒壊したら…どんなに心が折れそうになるか、想像しただけで目頭が熱くなりました。熊本が一刻も早く復興すること

と、シンボル熊本城が早く修復されることを願っています。 そんなこんなで京都タワーですが、撮影ポイントは数多くあります。そんな中で僕のおすすめは…京都駅ビルの大階段(駅ビル4階)のステージ付近・室町小路広場です。ステージから北(京都タワー側)にすすむと、けっこう良い位置に京都タワーが見えます。烏丸小路広場からも綺麗に見えますよ。地上から見上げるより僕は好きです。ぜひ認知症懇話会 1日目の交流会の後、京都タワーのライトアップを見に行ってください。



やっぱり京都のシンボルは京都タワーでしょう！！